

セミナー「日本・中国・朝鮮 近現代史」

担当 福地俊夫

0 歴史に弱い自分

共に学んでいきましょう。

今後、学んでいくきっかけにしましょう。

I 歴史を学ぶ意味

1 日本語教師として

(外国人学習者から)

問い：なぜ日本人はアジア人より欧米人が好きなのか。

問い：なぜ日本人は原爆を落とされてもアメリカが好きなのか。

2 過去と未来とをつなげること

「社会民主主義的な改革要求は既存の政治システム下では無理だということで、疑似的な改革推進者としての軍部への国民の人气が高まっていったのです。」「陸軍の改革案のなかには、自作農創設、工場法の制定、農村金融機関の改善など、項目それ自体はとてもよい社会民主主義的な改革項目が盛りられていました。」(加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』)

現在・未来のわれわれは政治をどう見るか。

3 問いを立てることの重要性

「今日の教育の空洞化は、子どもが、自らの「問い」となっていない「問い」の「答え」のみを、自ら望んでもいないのに与えられ、そのまま覚えては吐き出すことを繰り返し強制されることから、生まれてきている。」(吉田章宏「第6章子どもに学ぶということ」『新・教育原理 [改訂版]』柴田義松編)

出来事の記憶ではなく、出来事への問いを。

4 考え方の枠組み

「歴史は主として特殊なものを扱い、科学は一般的なもの扱う。だから歴史は科学じゃない。」

「歴史はなんの教訓も与えない。つまり一般化できない学問だから教訓にならない。」

①歴史は繰り返すか？

②特殊と普遍

③原因と結果

④5W1H

who, when, where, what, why, how

II 時代背景

1 欧米列強のアジア侵略

「敵の敵は味方」「昨日の友は今日の敵」「背に腹は替えられない」

2 明治維新（中央集権的国家形成）

III 歴史の節目

1 日清戦争 1894

2 日露戦争 1904

3 第一次世界大戦 1914

4 十五年戦争

(1) 満州事変 1931

(2) 日中戦争 1937

(3) アジア・太平洋戦争 1941

5 敗戦 1945

IV 問い

- 1 なぜ日本とアメリカは戦争をしたのか
- 2 なぜ日本はインドシナ半島へ進駐したのか
- 3 なぜ日本は中国を侵略したのか
- 4 なぜ軍部が台頭したのか
- 5 なぜ「満州は日本の生命線」だったのか

6 なぜ日本は二十一カ条の要求 1915 を突きつけたのか

7 ヨーロッパで起きた第一次世界大戦 1914 なのに、なぜ日本は参戦したのか

8 なぜ日本は朝鮮を侵略したのか

9 なぜ日本は植民地にならなかったのか

10 なぜ帝国主義が起こったのか

V テーマ別

1 日清戦争 1894

朝鮮の支配権をめぐる日清の戦い

(1) 時代背景

- ①朝鮮内の親日派・対・親清派
- ②壬午軍乱 1882・甲申事変 1884→天津条約 1885

(2) 原因

朝鮮で甲午農民戦争 1894

- a.清国軍が救援出兵
- b.天津条約 1885 を口実に日本軍も

(3) 結果

- ①日本勝利
- ②下関条約 1895
 - a.清は朝鮮の独立を承認
 - b.賠償金 2 億両 (テール) (3 億円)
 - c.遼東半島割譲
 - d.台湾・澎湖諸島割譲
 - e.沙市・重慶・蘇州・杭州の開市・開港と揚子江航行権承認
- ③三国干渉
 - a.下関条約の内容に露独仏が反発
 - b.遼東半島を清に返還
 - c.ロシアに対する反感 (臥薪嘗胆)
- ④中国分割

(4) エピソード 福沢諭吉

- ①「日支韓三国の関係」 1882
「韓人が日本人を恐れ日本人を悪むこと甚し。その原因は文禄壬辰の役にあり。」
秀吉の朝鮮侵略 1592・1597
- ②「脱亜論」 1885
「悪友を親しむ者は共に悪名を免かる可らず。我れは心に於いて亜細亜東方の悪友を謝絶するものなり。」

2 日露戦争 1904

満州・韓国をめぐる日露の戦争

(1) 時代背景

- ①三国干渉で日本に遼東半島の返還要求
- ②ロシアに対する反感（臥薪嘗胆）

(2) 原因

- ①義和団事変（宗教結社の民衆反乱）1899
 - a.北清事変（8カ国連合軍が出兵）1900
 - b.北京議定書 1900
 - c.ロシアが満州を占領
- ②日英同盟 1902

(3) 結果

- ①日本もロシアも戦争継続を望まない
- ②ポーツマス条約 1905
 - a.韓国に対する日本の指導権
 - b.北緯 50 度より南の樺太の譲渡
 - c.沿海州・カムチャツカ漁業権
 - d.長春よりも南の鉄道の権利
 - e.清からの旅順・大連の租借権
- ③日韓併合 1910
 - a.伊藤博文暗殺事件 1909
 - b.安重根（アンジュンゲン）

(4) エピソード 内村鑑三

「世には戦争の利益を説く者がある、然り、余も一時は斯かる愚を唱へた者である、然しながら今に至て其愚の極なりしを表白する、戦争の利益は其害悪を償ふに足りない、戦争の利益は強盗の利益である」（1903）

3 第一次世界大戦 1914 と日本

(1) 時代背景

- ①第一次世界大戦 1914
- ②三国同盟（含独）・対・三国協商（含英）

(2) 原因

日英同盟を理由にドイツに宣戦布告

(3) 結果

- ①ドイツ租借地である青島や赤道以北ドイツ領南洋諸島の一部を占領 1914

②二十一カ条の要求 1915

- a. 山東省ドイツ権益の譲渡
- b. 南満州・内モンゴル権益の 99 年延長と鉄道敷設権
- c. 漢冶萍公司（かんやひょうコンス）の日中の共同経営
- d. 福建省を日本の勢力圏へ
- e. 日本人顧問の傭聘（後で削除）

③パリ講和会議 1919

- a. 朝鮮で三・一独立運動
- b. 中国で五・四運動
- c. ヴェルサイユ条約 1919
 - ・ 山東省ドイツ権益継承
 - ・ 赤道以北ドイツ領南洋諸島の委任統治

④ワシントン会議 1921～22

- a. 四カ国条約 1921
 - ・ 太平洋諸島の侵略をやめる
 - ・ 日英同盟廃棄
- b. ワシントン海軍軍縮条約 1922
 - 海軍軍拡を目指す日本は挫折
- c. 九カ国条約 1922
 - ・ 中国の領土と主権の尊重
 - ・ 山東省の旧ドイツ権益返還
- d. ワシントン体制
 - 列強諸国は日本を警戒し勢力をおさえた

(4) エピソード 石橋湛山

「もし政府と国民に、総てを棄てて掛かるの覚悟があるならば、必ず我に有利に導きえるに相違ない。例えば、満州を棄てる、山東を棄てる、その支那が我が国から受けつつありと考える一切の圧迫を棄てる。また朝鮮に、台湾に自由を許す。その結果はどうなるか。英国にせよ、米国にせよ、非常の苦境に陥るだろう。何となれば、彼らは日本にのみかくの如き自由主義を採られては、世界におけるその道徳的地位を保つ得ぬに至るからである。そのときには、世界の小弱国は一斉に我が国に向かって信頼の頭を下ぐるであろう。」（1921）

4 十五年戦争

アジア侵略戦争

(1) 時代背景

- ①戦後恐慌 1920・震災恐慌 1923・金融恐慌 1927・昭和恐慌 1930
- ②山東出兵 1927～28

- a. 中華民国政府の蒋介石の北伐 1926～28
 - b. 満州軍閥の張作霖保護が目的
 - c. 張作霖軍が国民革命軍に敗北
 - ③ 張作霖爆殺事件 1928
 - ④ 松岡洋右「満蒙は我が国の生命線である。」 1930
 - 日露戦争での莫大な犠牲・ソ連の東進阻止・朝鮮統治安定・食料問題・鉄や石炭の資源・失業者対策
- (2) 満州事変 1931
- ① 原因
 - 柳条湖事件 1931
 - 関東軍が南満州鉄道爆破を中国の仕業にする
 - ② 結果
 - a. 満州国建国 1932
 - b. 五・一五事件 1932
 - 海軍青年将校中心のクーデタ 犬養首相射殺
 - c. リットン調査団 1932
 - 国際連盟は満州国を認めない
 - d. 国際連盟脱退 1933
 - e. 二・二六事件 1936
 - 陸軍皇道派青年将校を中心とするクーデタ 政府要人を殺害
 - f. 軍部の発言権が増大
- (3) 日中戦争 1937
- ① 原因
 - a. 西安事件 1936
 - ・張学良が蒋介石を監禁
 - ・国民党と共産党は内戦をやめる
 - b. 盧溝橋事件 1937
 - 北京郊外で日本軍と中国軍が衝突
 - c. 第二次国共合作 1937
 - 国民政府と共産党が抗日民族統一戦線
 - ② 結果
 - a. 不拡大方針をやめ、共産主義に対抗
 - b. 南京事件 1937
- (4) アジア・太平洋戦争 1941
- ① 原因
 - a. 日米通商航海条約失効 1940
 - 戦争に必要な物質が入ってこない

- b.援蒋ルート
米英が重慶の蒋介石中国国民政府を援助

②結果

- a.北部仏印進駐 1940
援蒋ルートを切断
- b.南部仏印進駐 1941
石油確保
- c.真珠湾攻撃 1941
- d.広島・長崎に原爆 1945
- e.ポツダム宣言受諾 1945

- (5) エピソード 満州事変直前の東大生のアンケート
「戦争になってもいいと考えている人が九割弱」

●参考文献等

- 『ドラえもんの日本の歴史がわかる 2』日能研
- 『金谷の日本史「なぜ」と「流れ」が分かる本 近現代史』金谷俊一郎
- 『日本・中国・朝鮮 近現代史』青木裕司
- 『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』加藤陽子
- 『謎とき日本近現代史』野島博之
- 『新詳説日本史』井上光貞・笠原一男・児玉幸多
- 『日本史 B 用語集』全国歴史教育研究協議会
- 『山川詳説日本史図録』
- 「NHK 高校講座日本史」インターネット上で視聴可

●担当教師（質問はいつでも受け付けます。）

福地俊夫

E-mail : fuku@aaa.email.ne.jp

URL : <http://www.asahi-net.or.jp/~yh8t-fkc/>

（「福地俊夫」で検索すればどこの検索エンジンでも探せます）

コトパラニックネーム：福地俊夫